

働く千カラ ★ さっぽろ流

Vol. 4

子育ての経験を生かして、
多くの親子が喜ぶ仕事がしたい



おたか いとみ
大高 愛美さん

子育て支援サイト「ママナビ」を運営する株式会社MammyProに平成23年8月に転職。千歳市出身。27歳

「超就職氷河期」といわれる昨今。就職先を道外に求める人もいる中、札幌で働くことを選び、生き生きと仕事をしている若者がいます。このシリーズではそんな元気な若者にインタビュー。札幌で働く理由や仕事に対する思いを語ってもらいます。

現在の仕事の内容を教えてください。

子育て中のお母さんのための託児付き食事会「親子カフェ」の運営が主な仕事です。飲食店などの会場探しや告知のホームページ制作、開催準備を担当しています。

ご自身も、2児のお母さんとして聞きました。

はい。小学生と2歳の子がいます。転職前は、雑貨のネット販売会社に勤めていたのですが、上の子が生まれてからずっと、子どもに関わる仕事がしたいと思い続けていたんです。

転職に向け、どのように活動しましたか。

働きながらパソコンスキルに通い、実践的なスキルを学びました。その後、転職活動に本腰を入れるため退職。子ども服の販売など子どもに関わる会社に多数応募しましたが、小さな子どもがいることが支障となり、不採用が続きました。

そうした中、今の会社に出会ったのですか。

はい。ハローワークで求人を見つけました。会社のことを調べるにつれ、子育てに役立つ情報サイトの運営や、親子カフェのような場の提供など、子育ての大変な部分をビジネスとして支援する姿勢に共感し、ここで働きたいと強く思

ったんです。その思いを面接で社長にぶつけ、運良く採用に。必死の気迫が採用の決め手だったそうです。

仕事のやりがいを教えてください。

親子カフェに参加したお母さんから「ゆつくりおしゃべりできて楽しかった」「すごく息抜きになった」と言われたり、託児スペースで遊ぶ子どもが満面の笑顔で駆け寄ってきたり——親子の喜びがじかに伝わってくる時、心底やりがいを感じますね。

子育ての経験が役立つ機会も多そうですね。

社長をはじめ社員はみんな子育て中のお母さん。自分の経験から得た発想を持ち寄り、議論しながら形にしていけます。あつたら良いなと思うことをどんどん実現させて、もっと子育てしやすい環境をつくっていききたいですね。



社長と共に仕事に励む大高さん。考案したお弁当レシピをサイトで公開するなど、日々奮闘している。

身近な課題をビジネスにしたい方を支援

女性のためのソーシャルビジネス講座

子育てや環境などの身近な課題を仕事にする「ソーシャルビジネス」で、起業を目指す女性向けの講座です。実際に起業した方が仕事内容や起業のきっかけを講演するほか、資金や人脈づくりなども学べます。

1月30日(月)開講。応募方法などは本誌16ページをご覧ください。

問い合わせ先 男女共同参画センター ☎728-1255

ホームページ www.danjyo.sl-plaza.jp

新たなビジネスを応援します

ソーシャルビジネスの魅力を知り、起業につなげてもらうための講座を、今後も開催していきます。広報さっぽろでもお知らせしますので、ぜひご注目ください。

たなか きよりの
経済企画課 田中 清敬さん

